

## 東北部会だより

2021年9月24日発行

会堂に集まること、声を出して賛美すること、集会を持つこと、そして互いに訪問することが不自由な中、東北部会の教会・伝道所・集会所では今どのようにして礼拝を捧げておられるのか。実際の様子や課題を分かち合い、共に祈り合いたいと思います。

### 錦織バプテスト教会

錦織教会は、69年の歴史を持つ教会ですが、色々な事情により15年という長い無牧の時期を経験しながらも、近隣の教会に助けていただき、現在は10代目の牧師を迎えて聖書の御聖言に励まされながら毎日を送っています。

礼拝は毎週10時30分ごろから始まります。礼拝堂は24名で満

席となりますが、いつも7~8名の出席ですので十分にソーシャルディスタンスを保つことができます。聖書は新共同訳を使い、時に文語訳も使います。讃美歌は54年版を使い、ヒ

ムプレーヤーの伴奏で最後まで賛美します。説教は通常25分くらいで、時には30分を超えることもあります。礼拝を短縮することはありません。11時25分ごろには礼拝が終わり、皆さん礼拝後は茶話会などを行わずに三々五々来週も会いましょうと挨拶を交わして



帰宅の途に就きます。9月いっぱいには安全に配慮して礼拝はお休みして、御言葉を文書にしてお届けしています。

登米平野のはずれの高台に建ち、教会の西に沈む夕日は言語に尽くせない美しい景色です。眼下に流れる北上川、ぜひ一度この教会をご訪問下さり、神の創造の美をご堪能頂ければ幸いです。

(天野 享)

### 利府キリスト教会

当教会では昨春以来、会堂に集まる人数を制限するために複数箇所ですべて礼拝を捧げています。具体的には、従来の会堂と森郷キャンプ場内の礼拝堂をインターネットを用いた同時中継で結び、それぞれに25~40名ほどが集っています。また、自宅からオンライン(YouTube)で出席される方もいます。司会と奏楽と説教は森郷から配信し、駅そばの会堂には大型テレビモニターを設置しています。一堂に会することができず、もどかしいのですが「ピンチをチャンス」という発想で、遠隔地の友や無牧教会などに礼拝中継をお届けして喜ばれています。新しい時代の教会のあり方のヒントがあるかもしれません。



コロナ禍の中にあって「油断せず、萎縮せず」に主から委ねられた宣教の使命を果たしていきたいと思っています。(松田牧人)

## 松島キリスト教会

主の御名を賛美いたします。コロナ禍の中にあっても大変困難の状況の中にあっても、神様の恵みで礼拝を続けています。礼拝出席者は20名です。伝道の働きとして、毎週松島キリスト教会のフェイスブック(Facebook)のページに今週の言葉という題で、短いメッセージを載せています。フェイスブックアカウントは Matsushima Christ Church です。



今年は元気な教会をめざして、音楽に力をいれています。多く

の青年たちが信仰を与えられ教会に集まって、一緒に礼拝を捧げることができるよう望んでいます。神様をまだ信じていない松島地域の人々に、神様の福音が届くように努力しております。

(ラパイトウエノ)

## 鹿島台キリスト教会

鹿島台キリスト教会が産声を上げたのは、1962(昭和37)年6月17日(日)の私立みのり幼稚園の園舎を借りて「集会所」として礼拝を守った日から始まります。鹿島台の信徒の熱心な祈りが、塩釜キリスト教会の齋藤久吉牧師を動かしたのです。

鹿島台の地に蒔かれた種は育ち、59年の時を刻みました。2022年で創立60周年を迎えます。教会を構成する会員は高齢化が進み、先

細りです。

今年に入り、お二人の兄弟姉妹がイエス様のもとに召されました。さらに追い打ちをかけたコロナ禍が、毎週の礼拝出席10名以下という状況を作り出しています。礼拝に出席できずにいる兄弟姉妹に礼拝のメッセージをオンラインや便り等を利用して送る方法を模索中であり、課題です。60周年を前に教会の変革が求められています。

(石川政雄)



今回は、第1回目として部会委員が所属する4つの教会をご紹介します。これからは情報をお寄せいただいた順にご紹介したいと思いますので、以下の要領で文と写真をお送りください。よろしくお願いいたします。

1. 現在の礼拝のようすや課題について(約300字程度)  
※執筆者のお名前もお書きください。
2. 写真1枚(礼拝の様子や会堂の写真)
3. 部会だよりは、情報が集まり次第、月末に発行予定です。
4. 原稿と写真は、出来るだけデータとして部会書記(日野)宛にお送りください。アドレス:s.hino.may4@gmail.com